

必要な人がいます 障がい者等用 駐車場



公共施設やスーパーなどには、入り口付近に駐車スペースを大きくとった、障がい者等用駐車場があります。車いすを使用している人はもちろん、歩行が困難な高齢者や妊娠している人などのための駐車場です。歩行が困難な人のため、入り口付近に設置しており、また、車いすなどを利用する際に車のドアを大きく開閉する必要があるため、一般的な駐車スペースよりも広く場所を確保しています。皆さんは、少しの時間ならと障がい者等用駐車場に駐車をしていませんか。必要ではない人が利用することで、本当な必要な人が利用することができなくなります。

肢体不自由

事故による損傷や先天性の疾病などが原因で、上肢や下肢にまひや欠損、筋力低下などが生じているため、日常の動作や姿勢の維持が難しくなります。

特に、下肢に障がいのある人は、移動のために車いすやつえ、義足を使用することがあり、段差や階段などは一人で対応できないことがあります。

車いすに乗った人が、ドアの前などで困っている場合は、本人に手助けが必要か声を掛けてください。

知的障がい

また、病気や事故で脳に損傷を受けた人などは、発語の不自由さや記憶力の低下、感情の不安定さを伴い、自分の意思を伝えるににくい人もいます。話が聞き取りにくい場合などは、理解できるまで確認することが重要です。

知的障がいのある人は、発達時期において、脳に何らかの障がいが生じたため、知的機能や認知機能などが年齢相応に発達せず、社会生活において援助を必要とすることがあります。重度の場合は、常に同伴者が



このマークを知っていますか

『国際シンボルマーク』といます。障がいのある人が利用できる施設であることを表すための世界共通マークです。「障がいのある人すべてを対象」としたもので、特に車いすを利用する人を限定して使用されるものではありません。

必要となる場合があります。軽度の場合には、障がいのない方と一緒に働いている方も多くいます。

知的障がいのある人は、「言葉を使う」、「記憶する」、「抽象的なことを考える」ことに時間を必要とすることが多いため、会話する際は、「短い文章」で、「ゆっくり」、「具体的に」、「簡単な言葉で」話すことを心掛けてください。

また、危険なことだと分からず、行動に移してしまうこともあります。また、強い口調で声を掛けるのではなく、穏やかな優しい口調で知らせるようにしましょう。

精神障がい

精神障がいのある人は、統合失調症やアルコール依存症、そううつ病、てんかんなどのさまざまな精神疾患のために、日常生活や社会生活のしづらさを抱えています。

精神疾患は、誰でもかかりうる病気で、代表的な疾患の一つである統合失調症は、幻聴や妄想、思考障害など、さまざまな精神症状が現れます。適切な治療を継続することにより、症状が安定する病気であるため、周りの人の理解と支えにより、安心して生活することができます。外見からは分かりにくく、コミュ

市内の就労支援施設と就労内容

就労継続支援施設 月とらいおん 豆腐、スイーツなどの製造・販売、ハウレンソウなどの栽培・販売 【受託業務】うに箱作成、ゼリー検品、草刈、除雪
就労支援センター ピアチーレ パン製造販売
すずかけ 【受託業務】革製品の製造・販売、保冷剤製造、割箸袋入れ
株ネットワーク 花苗などの販売、清掃 【受託業務】造園、除雪、草刈
フロンティア登別 カフェ、弁当製造販売

障がいのある人を 雇用する場

就労支援施設

市内には、一般企業などでの就労が困難な人が、知識や能力の向上のため、必要な訓練を行いながら働く就労支援施設があります。パンやお菓子など、食品の製造・販売や除雪などの作業のほか、市内外の個人や企業などから、検品や草刈などの業務を受託し、作業を行っています。

ニケーションが苦手な人が多いため、孤立している人や、病気のことを他人に知られたくないと思っている人がいます。精神障がいの方は、ストレスに弱く、また、周囲の言動を被害的に受け止め恐怖を感じてしまう人もいます。そのため、不安を感じさせないように、穏やかに応対することが必要です。